〔大学院〕申込みのしおり― 2023 年度二次採用 ―

■ 申込資格等 ： 『貸与奨学金案内』P8

2023 年 10 月 1 日現在で、大学院に在学する学生（全学年対象）

※ 以下の人は申込資格がありません。ただし、被災や災害（新型コロナウイルス感染症の影響による就職の内定取消等を含む）に起因する特殊事情により、やむを得ず令和 5 年度も在学する学生は新規で申請することが可能です。本紙 P9 もあわせて参照してください。

1．標準修業年限(*)を超えている人（休学期間は含めない）
　* 修士 2 年、博士 3 年、医・獣医・薬学博士 4 年、専門職学位 1～3 年（専攻によって異なります）
　なお、長期履修学生は長期履修が認められた期間を超えていなければ申込みできます。
2．留年の期間に相当する人
3．過去に同奨学金の貸与を受けて、返還誓約書未提出、返還を延滞中、代位弁済が行われた人
4．債務整理中の人
5．外国籍の人
　※在留資格が「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」の人は申込みできます。
　なお、「定住者」は、将来永住する意思のない人は申込資格がありません。
6．収入基準額を超える人（『貸与奨学金案内』P9）

■ 配付書類 ： 下記の URL からダウンロードできます

● https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/welfare/h02_01_02_10.html

1．『貸与奨学金案内』（冊子）
2．〔大学院〕申込みのしおり-2023 年度二次採用-（本紙）
3．2023 年度日本学生支援機構大学院奨学生出願票
4．確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書
5．収入計算書［前年用・本年見込用］
6．給与支払（見込）証明書
7．年収（見込）に関する申告書
8．2023 年度スカラネット入力下書き用紙
9．機関保証制度ちらし

■ 問い合わせ先

〒113-8654　東京都文京区本郷 7 － 3 － 1
東京大学 本部奨学厚生課 奨学チーム　JASSO 担当
Email：syougaku.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

■ 申請の流れ

1．申込書類の確認

以下の書類を熟読する。

・『貸与奨学金案内』（冊子）

・〔大学院〕申込みのしおり（本紙）

2．申込書類の準備・作成　→　P4 以降 及び『奨学金案内』をよく確認して準備しましょう

☐ 申込書類の記入を誤ったときは、二重線で取り消しのうえ、余白に丁寧に書き直してください。（**修正液は使用不可**）

☐ 申請書類はすべて黒色または青色のペンで記入してください。（**消せるペンは使用不可**）

☐ 提出書類は返却できませんので、必要に応じて提出前にコピーをおとりください。

3．スカラネット入力

スカラネット
入力下書き用紙

＜確認書兼同意書の提出＞画面では「提出しました」を選択して入力を進めてください。

【入力期間】

9 月 11 日（月）8:00 から **書類提出前** まで

【スカラネット】

https://www.sas.jasso.go.jp/scholarnet/

【入力用ユーザ ID とパスワード】

ユーザ ID ：**10400302**　※法科大学院：**10400360**

※総合文化研究科・数理科学研究科：**10400301**

パスワード： **j69ji6kp**

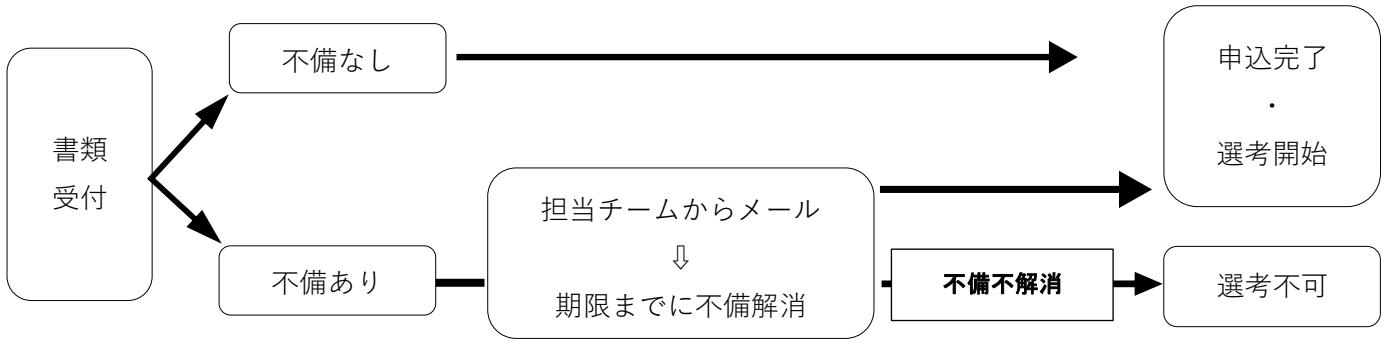
4．書類提出

書類受付期間は次ページでご確認ください

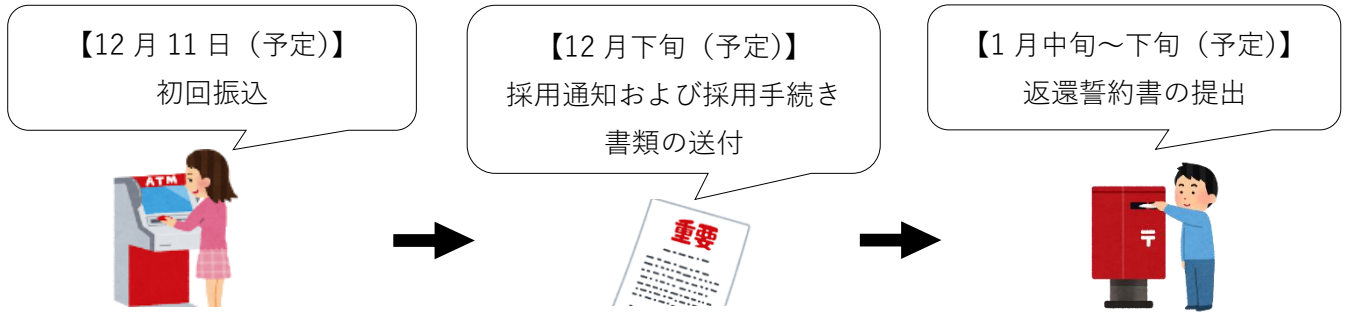
出願票

「出願票」を一番上に順番に重ねて、
不足や不備がないか提出前に確認しましょう。

5．不備解消



6．結果通知から採用まで



■ 書類受付期間

書類受付期間	受付場所
令和５年９月１１日（月） **～１０月１０日（火）** **※最終日消印有効**	〒113-8654　東京都文京区本郷７－３－１ 東京大学 本部奨学厚生課 奨学チーム JASSO 担当 （郵送受付のみ）

注意事項

（１）郵送のみでの受付となります。
（２）封筒に「JASSO 大学院二次採用 申請書類在中」と朱書きのうえ、送付してください。
（３）書類の受付連絡は行っておりません。できるだけ記録の残る形式で発送のうえ、到着をご確認ください。
書類が届かなかった等の郵便事故については一切責任を負いかねますのでご了承ください。
（４）１０月１０日の消印がついていても、国際郵便等のため１０月１７日（火）以降に到着した場合は
受付られませんのでご注意ください。

■ 申込書類の準備・作成

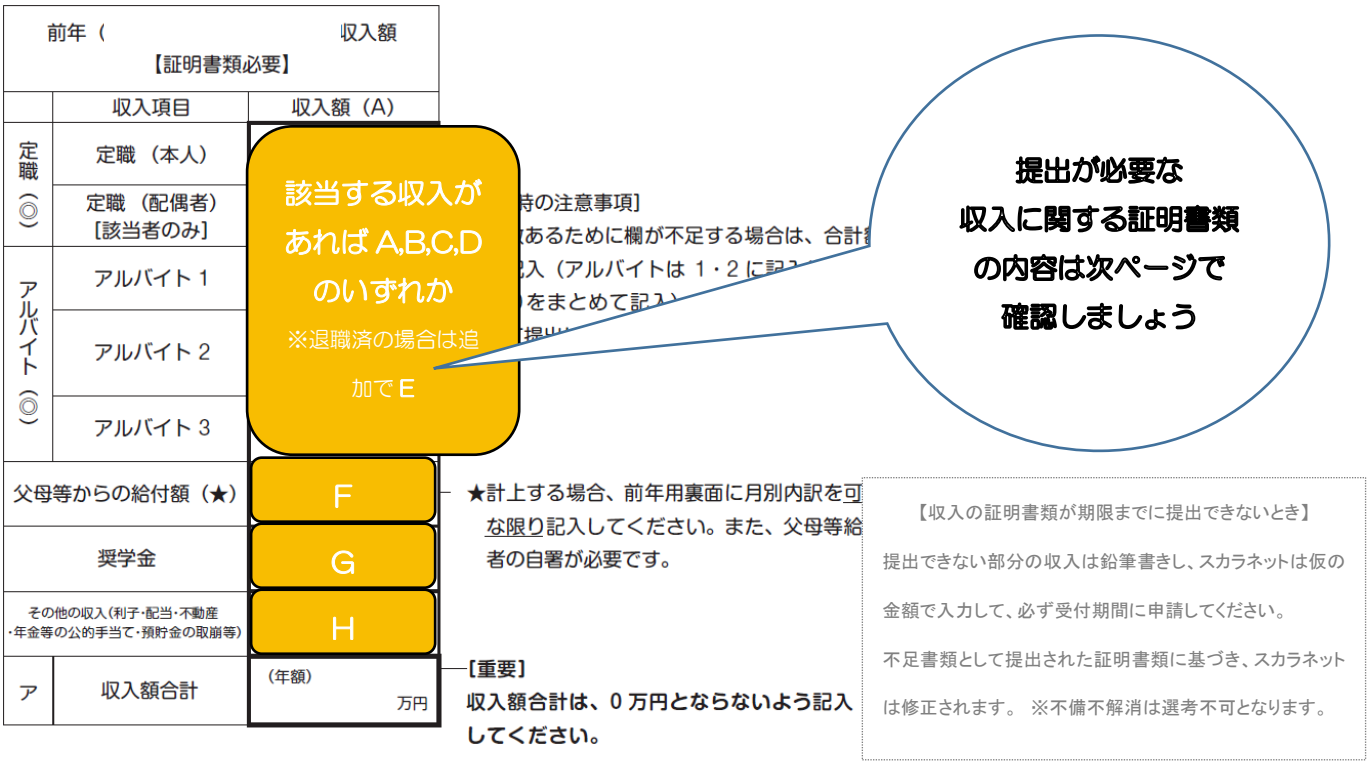
収入計算書：①～⑥の手順でご作成ください

① １０月１日時点の所属、氏名等を記入してください。

② 前年の収入に関する証明書類を取得し、収入額を収入計算書に記入します。

【注意】

- 学費や生活費に**不十分な金額の申告とならないよう注意**してください。収入が低いほど採用されやすくなるわけではありません。基準内であれば、家計基準に適格となります。
- 自宅通学者で実家の父母等が負担した金額は、収入項目「父母等からの給付額」として算入してください。
- 収入を推算する場合の計算式は、「年収（見込）に関する申告書」を使用してください。
- 収入として日本学生支援機構の奨学金を受け取っている場合、奨学金の月額変更履歴が確認できるスカラネットパーソナルの詳細情報ページのコピー等を提出してください。



③ 次の３つを確認します。

□ 前年の「収入額合計」は、希望の奨学金種別の家計基準以下である。
□ 本年の収入見込みは、前年の収入金額から変動がない。
□ 2022 年１月から申込月までに終了または始まった定職・アルバイト・奨学金はない。

３つチェックがついた → A．本年見込用は記入不要です（**提出は必要**）（⑥へ）

チェックが２つ以下 → B．本年見込用を記入します（④へ）

【参考：家計基準『奨学金案内』P9】

第一種		第二種		併用貸与	
修士・専門職	博士	修士・専門職	博士	修士・専門職	博士
２９９	３４０	５３６	７１８	２８４	２９９

④ 前年から変動のある本年見込の収入に関する証明書類を取得し、収入額を収入計算書に記入します。
【注意】申請中（採用前）の奨学金や申込月までに終了した定職・アルバイトや奨学金は計算に入れません。

⑤ 本年見込の「収入見込額合計」が家計基準額以下であるか確認します。
（※家計基準額を超えている場合は不採用となります）

⑥ 前年から収入が変わらない場合は、本年見込の収入計算書の「本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動はありません」に〇を付けて提出します。
必要な証明書類が揃っているか、記入した金額に誤りがないか、最後に全体を確認してください。
（収入に関する証明書類は収入計算書に貼付せず、別にご提出ください）

記号	必要書類	備考
A	令和４年分（2022 年分）源泉徴収票のコピー	2022 年と 2023 年の収入に 変動がない→ A または B のみで可 変動がある→ C が必要 退職済　　→ 追加で E が必要
B	令和４年分（2022 年分）確定申告書（控）第一表と第二表のコピー ※税務署の受付印があるもの。電子申告の場合は、受付日時が印字された「確定申告書」または「申告内容確認票」の第一表及び第二表が必要です。	
C	給与支払（見込）証明書	別紙様式により勤務先に依頼してください。C が取得できない場合には D を使用してください。
D	年収（見込）に関する申告書	給与明細又は通帳のコピーを添付のうえ使用してください。
E	退職証明書のコピー	A,B,C,D で退職（離職）年月がわかる場合は不要です。
F	（証明書類なし）父母等による自署 ※表面「父母等からの給付額(★)」と裏面★の合計金額が一致することを確認してください。	収入計算書裏面に署名いただいてください。別紙（様式自由）として金額を記入して証明（自署必要）いただくのでもかまいません。
G	奨学生証・採用通知書のコピーなど 月額（年額）と期間の記載がある書類	JASSO 貸与奨学金の場合は「貸与奨学金返還確認票」、 JASSO 給付奨学金の場合はスカラネットパーソナルの詳細情報のコピーでも可。
H	該当する収入の証明書類（下記は一例です） ・預貯金の取り崩し → 口座名義人部分と直近３ヶ月分のコピー ・失業給付 → 雇用保険受給資格者証の両面のコピー ・児童手当等の公的手当 → 支給額・支給頻度がわかる書類のコピー	

確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書

□ **必ず記入面と約款が両面印刷となるようにして使用してください。**

□ **「氏名」欄は自署が必要です。PC 等での入力は不可です。**

□ 「学校番号」欄は空欄でかまいません。

□ 必要事項の記載漏れが多いため、ご注意ください。

□「学部・課程・分野」欄には修士・博士等を、「学科・専攻・研究科」欄には所属研究科を記載してください

採用手続き書類送付用レターパック

□ １２月下旬に採用手続き書類を大学から送付しますので、1 部ご用意ください（レターパックライト・プラスいずれでも可)。レターパックは、一部のコンビニまたは郵便局等で購入することができます。

□ レターパックには下記の内容を記入のうえ、申請書類に同封してご提出ください。
提出時の封筒に入れる際は、レターパックを二つ折りにしていただいてかまいません。

記入欄	記入内容
郵便番号・お届け先 To	必ず郵便物を受け取れる住所・氏名等を記入してください。 【注意】おなまえの「様」は削除しないでください。
ご依頼主 From	空欄のままにしてください。
品名	「書類」と記入してください。

※「ご依頼主様保管用シール」は剥がさず、また、封はしないでください。

※ 申請後、１２月中旬までに住所変更した場合は、変更後の送付先住所を P1 の問い合わせ先までお知らせください。

通帳のコピー

□ 奨学金の振込に使用する口座の支店名・口座番号・名義（カナ）が確認できる部分のコピーを「スカラネット入力下書き用紙」P11 に貼り付けてください。（通帳がない場合は、キャッシュカードのコピーも可）

□ スカラネットで「振込口座情報」の入力を誤ると初回振込が 1 ヶ月以上遅れますのでご注意ください。

スカラネット入力下書き用紙

入力前に内容を記入し、入力後の受付番号を表面に記入してください。

□ P4 の D-1-(5)及び表紙の「専攻コード」は未記入（未入力）としてください。

□ P5 の「大学院修士課程及び専門職学位課程進学予定者に係る特に優れた業績による返還免除内定制度」の受付番号が不明の場合は、しおり P1 の問い合わせ先へ氏名・生年月日・内定申込時の在籍大学名を明記して連絡してください。

□ P10 の J 及び K は下書き不要ですが、入力の際にタイムアウトしないよう入力内容を事前にご準備ください。

□ リサーチアシスタント、ティーチングアシスタント等の勤務時間数は他のアルバイトと合算して 21 時間以下となる便宜上の時間数を入力してください

□ JASSO 奨学金の証明について奨学生証を紛失している場合、下記のページから「奨学金に関する証明書」を申請できます。
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/henkan/todokede/shomeisho.html

▼▼ 重要 ▼▼

□ 「H-貸与奨学金返還誓約書情報」で入力した内容がそのまま登録されて、後日、返還誓約書に印字されます。入力を誤ると採用手続き時に訂正が必要ですので、下記の書類の内容を確認のうえ正確に入力してください。

入力を求められる情報		確認する書類
A	本人の住民票住所	申請者本人の住民票
B	連帯保証人の印鑑登録証明書の住所、氏名、生年月日	連帯保証人の印鑑登録証明書
C	保証人の印鑑登録証明書の住所、氏名、生年月日	保証人の印鑑登録証明書

● B 及び C は、人的保証を選択する方のみ入力が必要です。

● 人的保証選択者は、申込前に必ず選任の条件を確認のうえ、返還についての承諾を得ておいてください。

● 電話番号や勤務先名についても、事前に確認のうえ間違いのないよう入力してください。

● 奨学金申込時には上記書類の提出は不要ですが、返還誓約書提出時（１２月下旬頃）に必要になります（併用貸与者は原本が 2 通必要です）。返還誓約書提出の手続きの詳細は採用後にお知らせします。

※注意※ 住民票住所、氏名、生年月日等を誤って入力すると、連帯保証人・保証人の方による訂正が必要となります。スカラネット登録前によく確認しましょう。

出願票

□ 必要事項を記入のうえ、書類の提出前に点検してください。

在留資格に関する証明書【該当者のみ】

□ 日本国籍**以外**の方は、在留資格・在留期間が明記された、
「在留カード」の両面コピー 又は 「在留資格が記載された住民票の写し」の原本 の提出が必要です。

地方創生枠推薦者決定通知【該当者のみ】

□ 地方創生枠推薦者の方は、「地方創生枠推薦者決定通知」を提出してください。

■ その他

● UTAS の登録について

日本学生支援機構に関する連絡や郵送物を、UTAS に登録されている連絡先・住所にお送りすることがあります。登録に不備がありますと連絡を受け取れない、郵送物が届かないことがありますので、UTAS には常に最新の連絡先・住所を登録しておいてください。特に転居された際に、住所の更新を忘れる例が多いためご注意ください。

● 奨学金貸与・返還シミュレーション

本奨学金は貸与のため、返還が必要です。家庭の経済状況やあなたの人生・生活設計に基づき、将来返還する義務があることを十分考慮して貸与額の選択、申込みをしてください。

なお、JASSO の以下のウェブページでは返還額の試算ができますのでご活用ください。

https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/index.action

● 卒業予定期を超えて在学している者の特例（**第二種奨学金のみ**）

被災や災害（新型コロナウイルス感染症の影響による就職の内定取消等を含む）に起因する特殊事情により、やむを得ず令和 5 年度も引き続き在学し、新たな卒業予定期が 2024 年 3 月以前（※１）である学生は、(1)スカラネットの入力，(2)書類の提出と同時に、次のとおり問い合わせ先までメールを送信してください。ただし、必ず採用されるものではなく、不採用（申請不可）となることがありますのでご了承ください。

件名　：【JASSO】新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた特例による申請

本文　：以下の事項を本文に記入してください。

〇学籍番号

〇氏名

〇スカラネット入力日

〇やむを得ず令和 5 年度も引き続き在学することとなった事情

※１　2023 年 9 月卒業予定の学生の、新たな卒業予定期が 2024 年 9 月以前となった場合も申請可能です。

● 返還免除制度（概要は「奨学金案内」P13）

※ 第二種奨学金は、返還免除制度の対象外です。

	A：特に優れた業績による返還免除	B：返還免除内定制度
申請資格	貸与が終了する 大学院 第一種奨学生	入・進学し採用された 博士課程 1年次 第一種奨学生
申請時期	募集は研究科等で行われ、申請時期は研究科等や募集年度により異なります。 （Aは貸与終了年度、Bは入学年度（採用年度）の募集への申請となります。）	
備考	評価方法は以下をご参考としてください。	内定者は、貸与終了年度に「A：特に優れた業績による返還免除」への申請が必要です。

令和5年度以降新たに、大学院博士課程において第一種奨学生として採用された人で、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する**「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」**又は**「次世代研究者挑戦的研究プログラム」**（以下「フェローシップ等」という。）の支援を受ける人は、日本学生支援機構の**「特に優れた業績による返還免除制度」の対象外となります。**

※　過去にフェローシップ等の支援を受けた人が、その支援を辞退した後に、令和5年度以降新たに日本学生支援機構へ採用された場合など、フェローシップ等と日本学生支援機構の期間が重なっていなくとも「特に優れた業績による返還免除制度」の対象外となります。

※　他大学等の博士課程においてフェローシップ等の支援を受けた人も、令和5年度以降新たに日本学生支援機構へ採用された場合「特に優れた業績による返還免除制度」の対象外となります。

【特に優れた業績と評価方法】
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/hyoka.html

【東京大学における「次世代研究者挑戦的研究プログラム」】
https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/special-activities/spring_gx.html

【東京大学における「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」】
https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/special-activities/utokyodoctorfellowship0001.html

「未来社会協創国際卓越大学院」、「統合物質・情報国際卓越大学院」、「量子科学技術国際卓越大学院」、「知能社会国際卓越大学院」、「社会デザインと実践のためのグローバルリーダーシップ養成国際卓越大学院プログラム」の中で、東京大学博士フェローシップの支給を受けている人は、上記フェローシップ等からの支援対象者であるかどうかわからない場合は、所属する上記の卓越大学院プログラム事務へ確認してください。